

ながぬま

謹賀新年



新年ご挨拶



ながめま農業協同組合
代表理事組合長 永井 孝雄

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

組合員の皆様には、輝かしい平成28年の新年をご健勝で迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より、当農協が行います事業に對しまして、事業推進員さんを通じ特段のご理解、ご支援を賜っておりますことに、お礼と感謝を申し上げます。

昨年は、積雪も少なく融雪期は3月22日となり平年より12日早まり、4月下旬以降5月は高温・多照で推移し、順調に農作業が行われました。その後、6月上旬の100ミリを超える局地的な降雨により一部作物に播種・移植の遅れが生じました。しかしながら、その後の気象経

過は6月下旬以降に若干低温となったものの各作物とも順調に生育しました。

水稲については、移植期は平年より2日早い5月22日で、冷害危険前半と登熟期後半は低温傾向でありましたが、不稔も平年より少なく、概ね順調に生育し水稲の作況指数は「北海道104」「南空知106」となり、量・質ともに良品質米生産がなされました。

小麦については、融雪が早く起生期で11日、幼穂形成期は8日平年より早まりましたが、7月上旬に平年より低温に推移したことから、登熟がゆっくりと進んだこと、生産者皆様の栽培管理の徹底により、過去最高の収量となりました。

麦バラ施設における小麦受入重量は1万6千

トン(計画対比133%)となりました。
大豆は、順調な生育から、受入計画の113%、6千2百トン施設受入し、112等格が全体の約4割であります。大粒系品種は若干小粒傾向であるものの計画以上の収量となりました。

野菜については、昨年5月に待望の蔬菜集出荷施設が完成しブロッコリーを始め共選作業を開始して、総じて量・質ともによく、価格も高めに推移したことから、前年を上回る販売高となりました。

さて、農業情勢については、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意という我が国の農業・JAに係る極めて大きな情勢変化がありました。

農協改革については、法改正と農業所得向上との関係などに関して、いまだに納得のいく説明がなく理解が進まない一方で、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件について今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協運営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていくところであります。

また、TPP交渉については、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年10月5日に大筋合意がなされた経過にあります。農業分野については、交渉で関税撤廃の例外を数多く確保したとする政府の説明に対し、現場の声は依然として厳しいものがあるとの認識であります。

JAグループ北海道としては、これらの状況

賀正

二〇一六年元旦

ながめま農業協同組合

会長理事	内田和幸
代表理事組合長	永井孝雄
専務理事	成田正夫
常務理事	小林信昭
総務・経済対策委員長	岩倉武男
営農委員長	廣田睦男
総務・経済対策副委員長	柴田佳夫
営農副委員長	堂林克敏
理事	大澤誠治
〃	土田満
〃	中原幸弘
〃	富澤正雄
〃	川口学志

代表 監事	生駒義博
常勤 監事	仲山幸雄
監事	佐々木博美
〃	井形聡
管理部統括部長	松本豊
企画審査室長	藤本勉
営農経済部長	飛谷博秀
統括部長	松村裕二
総務担当部長	細川秀樹
金融担当部長	岩崎徹
管理部長	高瀬好之
経営相談担当部長	森正敏
営農経済部長	伊藤盟
営農担当部長	高田久士
営農経済部長	高田久士
販売担当部長	高田久士
営農経済部長	高田久士
資材担当部長	高田久士
北長沼支所長	高田久士
舞鶴事業所長	高田久士
営農コンサルタント	高田久士
外職員一同	高田久士



迎えた本年が豊かで実り多き明るい年となりますよう心からご祈念申し上げます。挨拶いたします。

年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありましたが、全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます次第です。

さて、昨年の11月11日に、組合員やJA役員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と

豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の理解なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。農協改革については、その主要な目的でも

ある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

長沼町の農業・農村は、豊かな農地や美しい景観の下、道央圏で大型の食料供給地域として、安全・安心な農畜産物を、町民・道民をはじめ全国の皆様に安定的に供給するとともに、幅広い関連産業と結び付き、地域の経済や雇用に大きな役割を果たしています。しかしながら、地域では、高齢化や担い手不足が進行しており、農業生産力の維持向上と活力ある農村の形成への取組は、待ったなしの状況にあります。道では「北海道創生総合戦略」のもと、未来を拓く攻めの農業確立プロジェクトを推進する中で、競争力を高め、成長産業化を目指していくこととしていきます。

農業改良普及センター空知南西部支所においても重点活動を軸に地域の農業・農村の発展のため所員一丸となって邁進いたします。本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、また、豊穡の秋を迎えることができるよう心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

年頭あいさつ



空知農業改良普及センター

空知南西部支所
支所長 池田 亮司

新年明けましておめでとうございます。平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は、春先から天候に恵まれ、夏も比較的涼しく経過したことと組合員の営農努力により、小麦は過去最高の収穫量となったほか、水稲は、南空知で指数が106と「良」となるなど平年を上回る作柄となり、総じて豊作の年となりました。

このような中、2年余りに及ぶ交渉の末、10月5日にTPP協定が大筋合意されました。国は、地域での交渉結果と影響についての説明とあわせ、現場からの声を踏まえ、11月に「総合的なTPP関連政策大綱」を取りまとめました。

今年、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶いたします。



女性部秋季研修旅行

11月24日～27日、岡山・広島県方面へ3泊4日で行った。初日の岡山県では日本三大庭園の「後楽園」や「倉敷美観地区」の散策など紅葉の庭園や美しい町並みの景観を楽しみました。2日目はAコープ酢を製造している「大興産業」を訪ね、研修と工場見学をしました。研修では原料に国産米を使用していること、お酢を使うことで減塩が出来ることや他社のお酢との違いを学び工場の見学もさせていただきました。午後からは広島へ入り尾道市のロープウェイで山頂にある「千光寺公園」へ向かい眼下に見下ろす街並みに感動しました。



竹細工作りを学ぶ女性部員

3日目は広島県竹原地区で地元の竹細工保存会の方の指導のもと世界に一つだけの花かごを作りました。その後は宮島へ渡り、世界文化遺産の厳島神社へ向かいました。着いた時間が丁度引き潮で大鳥居の足元まで見

ることができ、神社境内はほとんど国宝・重要文化財となっており840年以上前に造られた神殿は圧倒される美しさでした。4日目は宮島をあとに広島平和記念公園にて原爆ドーム・平和の鐘・平和の灯・平和記念資料館を見学いたしました。戦後70年でも語り継がれる事実を目の当りにすると胸に詰るものがありました。4日間という時間の中で景観や街並み、また瀬戸内海に浮かぶ島々を眺めたり、その土地での名物をいただいたり地区を越えての親睦も深まりたくさんの思い出とお土産を持って、無事に家族のもとへ帰宅しました。



フレッシュミズ 後継者育成対策研修旅行

12月7日～8日、会員12名の参加のもと千歳市へ行った。初日は千歳市の岩塚製菓工場へ見学に行きました。業界での売り上げは国内3位、米菓に必要なお米は国産を使用とこだわりのDVDでの説明、実際の製造風景を見学させていただきました。宿泊先は今年6月に出来た「緑のかぜ」に泊まり、2日目は伊達市の「藍工房」にて藍染の体験をしました。パンダに割り箸を使って絞りを入れたり、型を使って模様をつけたりそれぞれの感性で作品を作りあげました。藍染体験のあとは隣接する道の駅に立ち寄り、地元の野菜や果物、珍しい加工品が並ぶ



作品を披露するフレッシュミズの方々

のを見ると手にとりながら話をする光景は、さすが農業者であり主婦といった様子でした。そして家族やお子さんにとくさんのお土産を持って帰宅しました。

4Hクラブ最優秀賞受賞！

12月3日、空知青年農業者会議が空知総合振興局で開かれ、プロジェクト発表の部で18区の秋葉遼平さんが最優秀賞を受賞し、その報告に農協を訪れました。

秋葉さんは、「長ネギ栽培における肥料利用効率の向上について」と題し、長ネギの基肥を半分にして、乳業汚泥ペレット堆肥で栽培する試験を行い慣行区と比較し、今後どのような取組み

が必要なのかということを発表しました。

1月28、29日に開催される北海道青年農業者会議に向け「練習を積み重ねて出来る限りよい発表をしたい」と語ってくださいました。組合長より「今後ながめ農業を担う皆さんに頑張ってもらいたい」と激励の言葉が述べられました。今後、皆さんの活躍に期待したいと思います。



最優秀賞を受賞した秋葉遼平さん（中央下）



永井組合長への報告を行う4Hのみなさん

emisia Premium Wedding Fair

2016.1.17日 24日 1st 10:00～ 2nd 15:00～

無料・完全予約制

- ウエディングカウンセリング
- 新作ウエディングドレス試着
- 模擬挙式（17日はチャペル、24日はスカイバンケットにて）
- 会場まるごとコーディネート見学（17日は全館装飾）
- プロジェクションマッピング体験
- 2016年 婚礼料理フルコース試食 フレンチ&スペシャリテ

2016年限定新プラン発表 & フェア限定特典プレゼント

Happy New Year Fair

2016.1.2日 3日

- 相談会
- チャペル見学
- 会場見学

婚礼料理5品試食＆ドレス試着

こだわりポイントを徹底的に体験できる！

相談会/ドレス試着/チャペル見学/料理試食

本番直前見学 試食フェア

2016.1.23日 30日

- 相談会
- チャペル見学
- 会場見学
- 料理試食

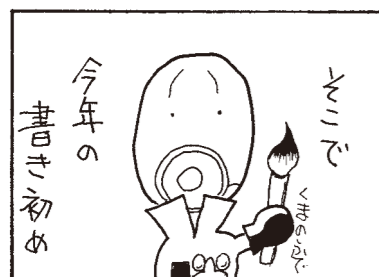
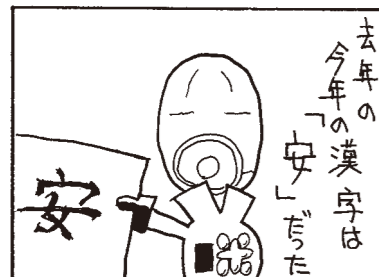
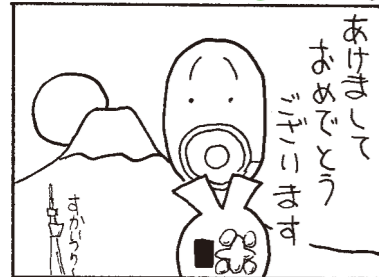
婚礼料理5品試食＆W相談会

おもてなしの宴であるお料理をゲスト目線で体験！

相談会/会場見学/チャペル見学/料理試食

私たちは、美味しく安全なJAながめま・ななつほしを標準使用し、その他農作物も適時に利用してまいります。
 ホテルエミシア札幌 〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 011-895-8811（代表）

クミカン



健康管理講座 温泉湯治に参加しましょう!

農協では、組合員とその家族を対象に高齢者健康管理講座を下記の要領で実施します。
多数の方が参加されますようご案内申し上げます。



～ 実施要領 ～

1. 対象者	ながめま農協の正組合員・家族であり、町内在住の満60歳以上の方
2. 実施期間	平成28年2月15日(月)～19日(金) (4泊5日)
3. 募集人員	50名程度
4. 研修先	登別温泉ホテル まほろば
5. 研修内容等(予定)	湯治、健康管理についての講演・血圧測定、学生落語、カラオケ等
6. 参加料金	個人負担 32,000円
7. 申込期日	平成28年1月29日(金)まで
8. お申し込み先	農協本所 営農経済部営農企画課 TEL 88-2232 (持病のある方は申込時に報告してください)
9. 参加料金納入	組勘・普通口座より引落しさせていただきます

営農用石油特別価格対策の実施について

燃料センター系統石油事業では、営農コストの低減を図るため、農業用免税軽油と米麦乾燥などの農業用灯油について、特別対策を実施しております。

平成27年度につきましても、取扱実績に対して、次の通り値引き修正をもって、特別価格対策を実施いたしましたのでお知らせいたします。

12月16日付で、各々のクミカンまたは普通貯金に修正経理いたしました。

品名	免税軽油	農業用灯油
対象期間	4月1日～11月30日	7月1日～11月30日
値引修正(1ℓ当り)	4円	4円

お問い合わせ 長沼燃料センター TEL 88-2015



『営農計画樹立』は家族ぐるみで!

本年も営農計画を樹立する時期となりました。この時期にじっくりと営農に取り組む基本方針を立てることが最も重要であり、また、各作物の生産性向上や気象条件などによる危険分散することも考慮し、作物品目などを計画する必要があります。

営農計画書作成にあたっては前年度の実績を踏まえ、さらには新たな政策への対応を考え、肥料・農業等の生産資材の効率的利用、コスト低減と経費の節約に努め家族ぐるみで実行可能な計画を樹立し経営の安定に努めていただきたいと思います。

なお、営農計画書の提出期日は2月10日までとなっておりますので、期日を厳守し提出くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ 本所管理部組合員相談課 TEL88-2229 北長沼支所 TEL89-2031 舞鶴事業所 TEL84-2002

融雪剤散布による融雪促進



融雪は気温との関係が高く、3月上旬から融雪が急激に進みます。降雨等によっても融雪が進みますが、大部分は雪面への日射(太陽熱の吸収)と空気からの熱伝導によるものです。

融雪剤散布による雪面黒化は、高い融雪促進が期待できます。

融雪剤の散布適期は、3月1日以降早い時期が効果的。

1 融雪促進の効果

積雪量が多い年ほど融雪促進の効果が大きくなるので、3月に入ったら直ちに融雪剤の散布を行ってください。

融雪剤による融雪促進効果は、散布時期や散布後の気象条件で異なりますが、通常では7～10日程度、条件が良い場合は10～15日程度促進します。

融雪剤散布による融雪促進効果の調査

区分	融雪剤散布日	融雪日	無散布区との差
融雪剤散布区	3月1日	3月25日	10日促進
無散布区	—	4月4日	

平成27年4月 JAながめま 資材センター調査

- ・長沼町内(北長沼～舞鶴) 8カ所調査平均
- ・散布資材は防散融雪炭カル(粒)等農家慣行
- ・融雪剤散布後に降雪があり、複数回散布した畑がある

2 融雪剤散布量と散布方法

融雪剤の散布量の目安は下記の表を参考にして、積雪状態(雪質)や天候の推移を勘案して散布量を増減してください。

散布方法は、畑一面に均一散布よりも、ややムラまき(散布後に凸凹ができる)の方が効果が高く、かつ雪面上が凸凹の方が融雪は促進されます。

10aあたり融雪剤散布量の目安

区分	資材名	散布量/10a
畑	防散融雪炭カル(粒) クミアイアッシュ	各資材とも30～60kgが目安
水田	珪カル(粒状)	融雪剤として30～60kgが目安

3 早期に融雪剤の注文・確保を行いましょ

お問い合わせ 本所資材センター TEL 88-2307・88-0278

理事会報告 - 第13回 -

《平成27年12月21日開催》

[議 案]

- 第1号 野菜の損害対策費支給について
- 第2号 平成28年度営農計画に係る農産物価格の設定について
- 第3号 平成28年度営農説明会の開催について
- 第4号 事業推進員会議の開催について
- 第5号 組合員の資格変更並びに出資金減口について
- 第6号 平成27年度決算見込みについて(11月末現在)
- 第7号 年末賞与の支給について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 平成27年度(一社)北海道農協経営審査協会の内部審査報告及び改善方策について(7～11月実施分)
3. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数

組 合 員 1,614名
 正 組 合 員 (866名)
 准 組 合 員 (748名)
 正組合員戸数 776戸

農協の動き 11/30～12/21

11月

30日	事業推進員会議	於 農 協
30日	籾バラ運営協議会	於 農 協
30日	空知玉葱共販協議会	於 空知農業会館

12月

3日	J Aバンク北海道空知地区委員会	於 空知農業会館
7～9日	地区懇談会	於 各地区会館
10日	空知地区農協生産資材事業推進協議会	於 空知農業会館
11日	空知管内J A常務会議	於 J Aびばい
14日	空知管内農協常務理事・ホクレンとの意見交換会	於 空知農業会館
14日	空知管内J A常参総会議	於 空知農業会館
14日	女性部最終理事会	於 農 協
15日	青年部営農懇談会	於 農 協
15～18日	道常例検査	於 農 協
16日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
16日	J Aグループ北海道常務・参事連絡会議	於 北農ビル
16日	空知水田農業担当者会議	於 空知農業会館
18日	スイートコーン部会定期総会	於 農 協
21日	総務・経済対策委員会	於 農 協
21日	監事会	於 農 協
21日	理事会	於 農 協

管理部共済課共済係
阿部 綾子
 (旧姓 稲垣)



永年のご勤続
 ありがとうございます
 ございました

《平成27年12月31日付》

退職職員

初売りの 2016年1月4日

あさ10時から

Aコープ
 A-COOP **ながめま店**

